

視聴覚教育

視聴覚
ライブラリー
特別号
(451号)
発行日
01.9.18
編集・発行
岡崎市AVL

令和元年度(第46回)

全国自作視聴覚教材コンクール表彰式

去る9月13日(金)に、東海大学校友会館にて第46回全国自作視聴覚教材コンクール入賞作品発表会ならびに第66回教育映像祭中央大会が行われた。おかげさ映像教材研究会が昨年度制作した5教材のうち3教材が入賞の栄に浴した。

(班長・副班長以外は50音順にて記載)

①小学校部門

【優秀賞】

「情報ネットワークで変わる社会」

〔養鶏場の進化〕

(社会科、映像教材)

おかげさ映像教材研究会A班

(班長) 藤渕 俊旭
(副班長) 鈴木 一史

鈴木 彩水 田中章太郎
長谷川 誉幸 原田 康司
水野 利明 山本 順正

②中学校部門

【優秀賞】

「多文化共生社会」

「日系ブラジル人の現状から見る」

これからの日本」



表彰式出席者 左より鈴木教諭(C班)、森教諭(B班)、藤渕教諭(A班)

③社会教育部門

【入選】

「心のふるさと 千万町楽校」

(社会科、映像教材)

おかげさ映像教材研究会C班

(班長) 鈴木 広樹
(副班長) 赤堀 大知

浅井 悠輔 天野 圭祐
佐渡 英彰 鈴木奈穂子
空中 健一 吉田あゆみ

おかげさ映像教材研究会B班

(班長) 森 綾子
(副班長) 石谷 遼一

青山 当知 権田 康成
神野 裕美 成瀬 正和
三浦愛一朗 村田 貴志

なお、おかげさ映像教材研究会制作の自作教材は、昨年度2月の第3回学習情報主任会にて各学校に配付済である。各教科の授業などで、ぜひ活用していただきたい。

ライブラリーだよ

第17回ふるさと岡崎メディアコンクール
視聴覚ライブラリー主催の「ふるさと岡崎メディアコンクール」を今年度も開催します。子供たちの映像作品や、授業で使うために自作した視聴覚教材などをぜひ御応募ください。

【募集期間】

令和元年10月1日(火)～12月2日(月)

郵便または直接持参にて

※学校の場合は交換郵便も可

【応募先】

岡崎市視聴覚ライブラリー

【募集部門】

(1)生涯学習部門

(2)学校教育教材部門

ビデオ教材・マルチメディア教材

(3)児童生徒作品部門

ビデオ作品・マルチメディア作品

①小学生の部 ②中学生の部

③高校生の部

【応募条件】※主なもの

・テーマは自由。

・作品は応募者の自作(児童生徒作品部門については、応募者が主体となって制作したもの)であること。

・取材・撮影対象者の許諾、BGM・効果音・地図・写真複製に関する著作権処理

については、制作者の責任において全てクリアしておくこと。

・学校教育教材部門、児童生徒作品部門において、プログラミング学習に関わる教材・作品の応募も可とする。

・学校教育部門、児童生徒作品部門において、プログラミング学習に関わる教材・作品の応募も可とする。